

ITA\_利用手順マニュアル

基本コンソール

*－*第1.5版*－*

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

* LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
* Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。
* AnsibleTowerは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

**目次**

[はじめに 4](#_Toc46934121)

[1 ITA基本コンソールの概要 5](#_Toc46934122)

[2 ITA基本コンソールのメニュー、画面構成 6](#_Toc46934123)

[2.1 ITA基本コンソールメニュー 一覧 6](#_Toc46934125)

[3 ITA基本コンソール利用手順 7](#_Toc46934126)

[3.1 作業フロー 7](#_Toc46934127)

[4 機能・操作方法説明 8](#_Toc46934128)

[4.1 ITA基本コンソール 8](#_Toc46934129)

[4.1.1 機器一覧 8](#_Toc46934130)

[4.1.2 紐付対象メニュー 10](#_Toc46934131)

[4.1.3 投入オペレーション一覧 11](#_Toc46934132)

[4.1.4 Movement一覧 12](#_Toc46934133)

[5 運用上の注意事項 13](#_Toc46934134)

[5.1 オペレーション作業履歴の定期削除 13](#_Toc46934136)

はじめに

本書は、ITAの基本コンソールの機能および操作方法について説明します。

# ITA基本コンソールの概要

本章では基本コンソールメニューの機能、操作方法について説明します。  
基本コンソールでは、ITAを利用して作業を行う上で共通に必要となる以下の機能を提供します。

・ 機器情報の登録、管理

ITAの操作手順における基本コンソールの位置づけは、「ファーストステップガイド」を参照してください。

# ITA基本コンソールのメニュー、画面構成

本章では、ITA基本コンソールのメニュー、画面構成について説明します



## ITA基本コンソールメニュー 一覧

ITA共通/基本コンソールのメニューを以下に示します。

**表 2.1-1 ITA画面一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No** | **メニュー**  **グループ** | **メニュー・画面** | **説明** |
| 1 | ITA　基本  コンソール | 機器一覧 | 管理対象システム一覧をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます |
| 2 | 投入オペレーション一覧 | 投入オペレーション一覧をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます |
| 3 | Movement一覧 | 登録したMovementの一覧を閲覧できます |

# ITA基本コンソール利用手順

## 作業フロー

ITA基本コンソールにおける標準的な作業フローは以下のとおりです。

各作業の詳細は次項に記載しています。

Movementの登録方法については、各Driverの利用手順マニュアルを参照してください。

1. **機器情報を登録/確認する**

**②オペレーションを登録/確認する**

**④Movementを確認する**

**③ITAの各DriverからMovementを**

**登録する**

**図 3.1-1 作業フロー**

# 機能・操作方法説明

## ITA基本コンソール

### 機器一覧

1. [機器一覧] 画面では、作業対象ホストの情報を管理します。

各オーケストレータの実行前にサーバタイプに応じた必要情報を登録してください。

また、再実行の際にサーバ情報が変更になっている場合は、事前に変更処理をしてください。



図 4.1‑1サブメニュー画面（機器一覧）

1. 「登録」-「登録開始」ボタンより、機器情報の登録を行います。



図 4.1‑2 登録画面（機器一覧 – 共通項目）

1. 登録画面の共通項目一覧は以下のとおりです。

作業対象の「ホスト名」、「IPアドレス」は、必ず入力してください。

※「ログインパスワード」は、「管理」を●とした場合、登録は必須です。

**表 4.1‑1　登録画面項目一覧（機器一覧 – 共通項目）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **項目** | | **説明** | **入力**  **必須** | **入力形式** | **制約事項** |
| 管理システム項番 | | 登録情報を識別する一意のIDが自動入力されます | - | 自動入力 | - |
| HW機器種別 | | HW機器の種別を選択します | - | 手動入力 | 最大長128バイト |
| ホスト名 | | ホスト名を入力します | ○ | 手動入力 | - |
| IPアドレス | | IPアドレス(xxx.xxx.xxx.xxx形式)を入力します | ○ | 手動入力 | 最大長15バイト |
| EtherWakeOnLan | MAC  アドレス | MACアドレスを入力します | - | 手動入力 | 最大長17バイト |
| ネットワークデバイス名 | ネットワークデバイス名を入力します | - | 手動入力 | 最大長256バイト |
| ログインユーザID | | ログインするユーザーIDを入力します | - | 手動入力 | 最大長30バイト |
| ログインパスワード | 管理 | ITAでパスワードを管理する場合「●」を選択します | - | リスト選択 | - |
| ログイン  パスワード | パスワードを指定します | ※ | 手動入力 | 最大長30バイト |
| ssh認証鍵ファイル | | ssh認証鍵ファイルを指定して鍵認証する場合の鍵ファイルを入力します。  rootユーザーで認証可能な鍵ファイルを用意して下さい。 | - | ファイル選択 | 最大サイズ10Kバイト |
| 備考 | | 自由記述欄です | - | 手動入力 | - |

1. 共通項目の他に、各Driver/オーケストレータを利用する場合に情報を登録します。

各Driverの詳細はそれぞれの利用手順を参照してください。

1. Ansible利用情報



図 4.1‑3 登録画面（機器一覧 – Ansible）

* Ansible利用情報とTower/AWX利用情報はAnsible driverに必要なパラメータです。
* 詳細については、「利用手順マニュアル\_Ansible-driver」を参照してください。

### 紐付対象メニュー

1. 紐付対象メニューでは、代入値自動登録設定で連携するCMDBのメニューを登録／更新／廃止を行います。  
   ※CMDBをカスタマイズしたときに、連携できるオプションの機能です。デフォルトでは利用しません。



**図 4.1‑4サブメニュー画面（紐付対象メニュー）**

1. 「登録」-「登録開始」ボタンより、メニューの紐付けを行います。



図 4.1‑5 登録画面（紐付対象メニュー）

1. 登録画面の項目一覧は以下のとおりです。

**表 4.1‑2　登録画面項目一覧（紐付対象メニュー）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **項目** | **説明** | **入力**  **必須** | **入力形式** | **制約事項** |
| メニューグループ:メニュー※2 | CMDBのメニューが表示されます。  代入値自動登録設定で連携するCMDBのメニューを選択します。 | ○ | リスト選択 | - |
| 備考 | 自由記述欄です。 | - | 手動入力 | 最大長4000バイト |

※2 CMDBのメニューグループとメニューの登録が必要です。

メニューグループとメニューの登録についての説明は、「利用手順マニュアル\_管理コンソール」を参照してください。

投入オペレーション一覧

1. [投入オペレーション一覧]画面では、オーケストレータで実行する、作業対象ホストに対する

オペレーションを管理します。

例）「サービス追加工事作業」 など



**図 4.1‑6サブメニュー画面（投入オペレーション一覧）**

1. 「登録」-「登録開始」ボタンより、オペレーション情報の登録を行います。



図 4.1‑7 登録画面（投入オペレーション一覧）

1. 登録画面の項目一覧は以下のとおりです。

**表 4.1‑3　登録画面項目一覧（投入オペレーション一覧）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **項目** | **説明** | **入力**  **必須** | **入力形式** | **制約事項** |
| オペレーション名 | 任意のオペレーション名を登録します | ○ | 手動入力 | 最大長256バイト |
| 実施予定日時 | オペレーションの実施予定日時を入力します  ※ここで指定した日付で実際に処理が実行されるわけではありません。  ※実施予定日時が設定されているオペレーションに紐づく作業履歴は、指定した保存期間を過ぎると自動で削除されます。 | ○ | 手動入力 | - |
| オペレーションID | オペレーションを識別する一意のIDが自動入力されます | - | 自動入力 | - |
| 最終実行日時 | Symphony実行や各ドライバの作業実行で、このオペレーションを選択し実行した実績の日時が表示されます。 | - | 表示項目 | 未実行のオペレーションの場合は空白が表示されます。 |
| 備考 | 自由記述欄です | - | 手動入力 | - |

Movement一覧

1. [Movement一覧]画面では、オーケストレータを利用する際のMovementとオーケストレータ

の関連付けを確認できます（参照のみ）。

Movementの実際の登録は、各Driverの利用手順マニュアルを参照し、各オーケストレータの

ITA用ドライバーのコンソールメニューから行ってください。



**図 4.1‑8サブメニュー画面（**Movement**一覧）**

# 運用上の注意事項



## オペレーション作業履歴の定期削除

「投入オペレーション一覧」メニューに登録されているオペレーションの実施予定日時に紐づくデータを削除する機能を用意しております。

詳細は、「利用手順マニュアル\_管理コンソール」を参照してください。